

平成 29 年 6 月 29 日

平成 29 年度第 2 回 IR 実務担当者連絡会の開催について（第 3 報）

主催：大学評価コンソーシアム

共催：国立大学法人 帯広畜産大学

1. 開催の主旨

IR 実務担当者連絡会は、IR や評価など高等教育機関における現状把握・現状分析に携わる実務担当者が集い、事例紹介と議論を通じて評価および IR における実践知の整理と体系化に向けた「経験値」の積み上げを図ることをねらいとし、平成 26 年度から現在までに 10 回開催しております。

評価や IR 業務では、学外秘など取り扱いに注意しなくてはならない情報が多く、「ありのまま」の事例を報告することが難しい状況にあります。しかしながら、評価や IR 業務の発展のためには、事例の共有や、事例をもとにした議論は不可欠であることを鑑みて、参加人数を限定した上で、可能な範囲で事例を共有しようと企画したものです。

本連絡会は年 4 回の開催を計画しております。今年度の第 2 回目となる今回は、帯広畜産大学との共催で初の北海道での開催となります。また、通常は設定していない「キャンパス見学会」、「懇親会」をあわせて試行します。

まずは報告希望者を募り、その後、参加者を募集します。連絡会では、3 ないし 4 件の事例報告と、それに対する質疑応答、総合討論を行います。本連絡会の特長として、質疑応答は質問・感想票を用いて行い、参加者からのすべての質問に回答できるよう質疑応答の時間を比較的長く設定しています。

なお、本連絡会で報告された事例は、参加者だけで共有するには「勿体ない」レベルのものが多くあります。そのため、各報告者には、本連絡会での議論の結果を踏まえ、学内の事情が許す範囲で情報誌「大学評価と IR」へ投稿していただき、参加いただけなかった方を含め、我が国の評価や IR の担当者や関係者と情報を共有していけるようお願いしています。ご都合等で出席できないみなさまは、内容の公開までしばらくお待ちください。

※濱田・本多「アンケート分析のための R プログラミングとライブラリ紹介」の報告が中止とさせていただくことになりました。そのため、1 本の報告を 2 本の報告に組み替えを行いましたので、報告本数やタイムテーブルに大きな変更はありません。

2. 日時・会場

平成 29 年 7 月 14 日（金）

帯広畜産大学

（北海道帯広市稲田町西 2 線 11 番地）

<http://www.obihiro.ac.jp/facility/map-index.html>

1) 帯広畜産大学における特色ある取り組みに関する見学会（オプション 1・任意参加）

10：00～11：30 会場：帯広畜産大学構内

- ・帯広畜産大学の特色ある取り組みを支える施設・設備等の見学会を行います。

帯広駅 9：30 出発（帯広畜産大学に直接いらっしゃる方は 10：00 に大学構内で合流）

2）IR 実務担当者連絡会

13：00 受付開始

13：30～17：15（情報交換タイム 17:15～17:45）

総合研究棟 I 号館 E2503 マルチルーム（予定）

- ・本連絡会終了後は、会場をそのまま情報交換会場として開放します。

3）懇親会（オプション 2・任意参加）

18：30～20：30 ごろ 会場：JR 帯広駅周辺（予定）

- ・今回は、懇親会を開催することとしました。（羊肉を含む肉系で調整中）

○ JR 帯広駅から会場（大学）までの移動手段について

※今回は、特例的に共催の帯広畜産大学がバスを手配します。

帯広駅 12：45 発（大学到着 13：15 予定）

大学発 17：55 発（帯広駅到着 18：25 予定）

3. 対象者

参加希望者：IR（現状把握・現状分析）に興味があり大学評価や学務、経営企画等に関連する調査などに従事したことがある教職員や IR に関する実践事例などに興味がある方。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・平成 29 年 6 月 12 日（月）13 時から申し込みを開始します。・申し込みは大学評価コンソーシアム Web サイトからお願いします。 |
|--|

4. 定員

35 名（スタッフはサテライト会場などに分散して参加します）

5. 参加費

徴収しません。

6. 注意

- ・「ここだけの話」的な雰囲気の確保のため、**録音、撮影はご遠慮ください。**
- ・運営スタッフが録音、撮影を行います。録音は報告者への提供用です。撮影した画像は報告用 web ページの素材として小さくトリミングして使います。
- ・原則として要点を記したレジюмеもしくはスライド資料を配布します。

7. タイムテーブル

13：30～13：45 趣旨説明

13 : 45-14 : 02 「学生調査に統計的検定はどこまで必要か？」

ー有意差検定・信頼区間のシミュレーションをもとにー

○岡田 佐織（ベネッセ教育総合研究所 高等教育研究室）

概要：IRの一環として学生調査の分析・解釈を行う場合、統計的検定の結果に基づいて判断することは、様々な問題を引き起こす。しかしながら、分析結果の報告先が「研究者集団」であるために、有意差の有無ばかりが問題にされ、調査結果が示唆する、より本質的で深刻な課題について議論するまでに至らない、という事態がしばしば発生してしまう。そのような事態を避けるため、有意差検定・信頼区間のシミュレーション結果の提示が、役に立つのではないかと考えている。報告では、統計的検定への過度の依存が引き起こす課題について整理し、学内で調査結果についての議論を深めるための手法について、議論してみたい。

※事情により中止となります（ハンドアウトの現地配布はあります。）

14 : 03-14 : 20 「アンケート分析のための R プログラミングとライブラリ紹介」

濱田 ひろか（統計数理研究所）

○本多 啓介（統計数理研究所）

概要：情報収集のフェーズではアンケートが様々な形で実施されるが、質的な（カテゴリーカル）データであるアンケート結果から有益な情報を抽出するには統計的な分析手法が有用である。本報告では収集後のフェーズである情報分析からさらに政策提言につなげるためのアンケート分析の手法についてできるだけ簡単な準備で実施できるようなプログラミング環境とライブラリについて例題を用いて紹介する。

14 : 03-14 : 21 「データを可視化するときの実務内容：BI ツール（Tableau と Excel）による違いに着目して 1（Excel 編）」

○橋本 智也（四天王寺大学 教育学部/IR・戦略統合センター）

14 : 22-14 : 40 「データを可視化するときの実務内容：BI ツール（Tableau と Excel）による違いに着目して 2（Tableau 編）」

○白石 哲也（清泉女子大学 情報環境センター（IR））

概要：データを必要な情報に変換して提供するにあたり、BI（ビジネスインテリジェンス）ツールを使うと、情報を視覚的に分かりやすく伝えることができる。本発表では、2つのBIツールの実務内容を紹介する。具体的には、同じデータを使って Tableau と Excel で可視化し、作業や見せ方の工夫にどのような違いがあるのかを報告する。

14 : 41-14 : 57 「データカタログに基づいたファクトブックの作成」

○大野 賢一（鳥取大学 学長室 IR セクション/大学評価室）

概要：2年前から作成していたデータカタログが概ね完成し、データの所在把握とデータ定義の統一に向けた取組を開始する予定である。本データカタログにより IR 業務の基盤が整ったことから、収集したデータの活用策としてファクトブックの作成に着手した。これら活動を紹介するとともに、今回作成したデータカタログの運用、ファクトブック作成のフロー等について参加者と議論したい。

14：58－15：15 「教員のパフォーマンスをどのように測りマネジメントにつなげるか」

○ 嶋田 敏行（茨城大学 全学教育機構）

概要：マネジメントを行うためにリソースの量的・質的把握が不可欠である。教育や研究のマネジメントを行うためには、主要なリソースである教員のパフォーマンスをどのように測るのか、ということが大きな課題となる。教員評価の際に、各大学はそれを行っているが、さまざまな課題がある。そこで教員評価の歴史にも触れつつ、教員のパフォーマンスをどのように測ればよいのか、そのために IR 担当として何ができるのか、について考えていきたい。

15：15－15：30 休憩および質問・感想票記入

15：30－17：10 報告&総合討論

- ・ 質問・感想票にもとづく質疑応答を行います。それに引き続いて総合討論を行います。（原則的に参加者から出された質問すべてに回答します。）

17：10－17：15 アンケート記入

（17：15－17：45 情報交換タイム [会場をそのまま情報交換会場に開放します]）

8. スタッフ（予定）

浅野茂（山形大）、大野賢一（鳥取大）、岡部康成（帯広畜産大）、嶋田敏行（茨城大）、末次剛健志（佐賀大）、関隆宏（新潟大）、土橋慶章（神戸大）、藤原宏司（山形大）、藤原将人（立命館大）ほか

9. 申し込み方法

参加希望は大学評価コンソーシアムの web サイト（6/12 13 時）からお申し込みください。

<http://iir.ibaraki.ac.jp/jcache/index.php>

10. 問い合わせ先

茨城大学 全学教育機構 総合教育企画部門 嶋田 敏行

toshiyuki.shimada.ir@vc.ibaraki.ac.jp

電話：029-228-8252（AP 事業室）

帯広畜産大学 大学情報分析室 岡部 康成

okabe@obihiro.ac.jp

電話：0155-49-5460（直通）

11. 次回以降の予定（含む関連イベント）

- ・ 平成 29 年 7 月 20 日（木）・21 日（金） 継続的改善のための IR/IE セミナー [会場：九州大学]

伊都キャンパス]

・平成 29 年 8 月 23 日（水）－25 日（金）大学評価・IR 担当者集会 2017 [会場：立命館大学大
阪いばらきキャンパス]

1 2. 謝辞等

○ IR 実務担当者連絡会の開催には、以下の資金も利用しています。

・平成 2 7 年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（B）
「大学の評価・IR 機能の高度化のための実践知の収集・分析とその活用に関
する研究」

（課題番号：15H03469、研究代表者：畷田敏行）

・平成 2 9 年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（C）

「IR を活かす学内データ管理に関する研究：統合型データベース構築への第一歩として」

（課題番号：17K04603、研究代表者：藤原宏司）

